



社会福祉法人 やながせ福祉会

居宅介護支援事業所

姫路・勝原ホーム居宅介護支援事業所

## 平成 28 年度 事業目標

「住み慣れた地域で、利用者の生きてきた力を尊重し、自分らしい生活の継続を支援する」

利用者の尊厳の保持と自律支援を念頭に、利用者と向き合い、自己選択と自己決定を尊重することで、その方の持っている力を引き出していけるようにする。また、医療知識を高めることで、円滑な医療機関（スタッフ）との連携、的確な状況判断ができるようになる。

(1) 週 1 回の定期会議にて、医学知識に関する知識と技術のレベルアップを図るとともに、事業所内で自身が実践し、取り組んでいるケアマネジメントの振り返りを行うことで、総合的かつ効果的なケアマネジメントの実践を目指す。

① 今、起こっている利用者の状況を的確に把握し、利用者からの要望（意向）や身体の所見など生活支援の視点と併せて、総合的な支援につなげていくこと、また、医師や看護師等の医療スタッフとの連携を円滑に行なっていくことを目標に、医療の専門用語、臨床検査に関する基礎知識を身につける。

② 各々の介護支援専門員としての専門的価値観や倫理観、知識と技術、支援の傾向を確認するために、それぞれが作成した居宅サービス計画書を用いて、自身のケアマネジメントに関するプレゼンテーションを行う。また、利用者の意向やアセスメント内容を反映し、根拠のある支援ができていないかを振り返るとともに、事業所内のケアマネジメントの質の向上、支援方法の統一を図っていく。

(2) 週 1 回定期会議、月 1 回居宅、管理者会議にて、事業所内、法人内で、常に情報共有、収集に努め、同職種、多職種連携や社会資源のコーディネート確立に努める。

## 平成 28 年度 事業報告

(1) 医療知識とケアマネジメントについて、それぞれの項目に対して、参考書を選定し、毎週、定期会議にて計画どおり勉強会を開催できた。医療知識では、全てを学ぶことは難しく、ケアマネジメントの実践に活かすためには高齢者に多い疾患に関する検査数値を中心に内容を絞る必要性を感じた。ケアマネジメントのプレゼンテーションにおいては、まず 1 年を通してケアマネジメントの進め方の再確認と自身の実践をチェックシートにより評価した。集大成としてフェースシート、計画書第 1～3 表を用いて、自身の実践について各ケアマネジャーがプレゼンテーションを行い、利用者、家族の意向が反映されているか、根拠をもって支援ができていないかどうかの検討会を行った。実践を言語化することの難しさを実感するとともに、自身の価値観、支援の傾向、得手不得手の振り返りや可視化、自己覚知ができた。今年度も事業所内で事業目標、取り組みを考え、計画どおりに目標達成に向けて進めることができ、職員それぞれが達成感を感じることができた。また、毎週、話し合いをもつことでケアマネジメントの大変さを共有でき、日々の仕事においてモチベーションが保てたのではないかと考える。

- (2) 昨年に引き続き、利用者、地域、事業所情報を週1回共有することで、事業所全体で情報を整理・把握でき、切れ目のない支援や豊かな情報を提供することができた。また、今年度は管理者会議を開催し、経営面からの視点を意識することができた。

## 平成28年度 事業運営総括

1. 平均介護度に関しては、前年度と比べ、ほぼ差がない状況である。前年度と比べ、介護予防利用者の人数が2倍となった。利用者数に関して、前年度常勤換算5.09に対し、当年度4.82と下がった分、前年度と比べ、要介護者のプラン件数が減少している。また、前年度に比べると、契約数は増加しているが、年間を通して、要介護者のプラン数の変動差が大きく、横ばいである。その要因として、特別養護老人ホーム数が増え、介護度が高くなると入所しやすくなったことや小規模多機能サービス、サービス付き高齢者住宅など、多様なサービスが増えたことで、ご利用者の身体状態や生活環境、家族状況に合ったサービスが受けやすくなり、居宅介護支援事業所から次事業へサービス移行したことなどが挙げられる。また、入退院を繰り返す利用者が多く、一時的に要介護状態となったが、改善によりサービス利用の必要がなくなった、要支援状態となった経緯も多い。新規利用者紹介の背景には、地域包括支援センターからの紹介件数が一番多く、続いて病院、地域住民からの紹介となっている。

要介護度の状況 《平均要介護度 1.81》  
平成29年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	7	5%
要支援2	7	5%
予防計	14	10%
要介護1	65	41%
要介護2	37	25%
要介護3	24	15%
要介護4	10	6%
要介護5	5	3%
介護計	141	90%
合計	155	100%

新規契約者数

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	3	6	3	4	3	4	4	7	6	2	4	7	53

利用者数

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1・2	7	7	8	12	12	13	14	14	14	15	15	14	145
プラン数	146	145	144	138	133	135	137	142	144	136	137	141	1,678
合計	153	152	152	150	145	148	151	156	158	151	152	155	1,823

要介護認定調査数

平成28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
居宅	0	1	3	4	1	1	4	3	3	2	0	5	27
特養	1	3	3	3	1	3	3	0	3	6	0	0	26
合計	1	4	6	7	2	4	7	3	6	8	0	5	53

## 職員間の内部研修の実施状況

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師(職・氏名)
基本理念・接遇研修	法人理念・服務の心得・接遇・個人情報保護についての取り扱いについて	全常勤	41名	4月1日	副施設長(塩見優次)
喀痰吸引研修	吸引の必要性・方法について	全職種	56名	5月23日～5月27日 (5回)	看護師
産業医研修	生活習慣病について	全職種	31名	6月2日	嘱託医(久保精一郎)
感染症対応研修	ノロウイルス対策とマニュアルの説明について	全職種	53名	6月20日～6月24日 (5回)	感染・衛生委員会
リスクマネジメント研修	平成27年度事故報告書集計結果報告・事故報告書の書き方について	全職種	32名	7月25日～7月29日 (5回)	リスク管理委員会
災害・非常食対応研修	災害・非常食の食事提供の取り組みについて	全職種	56名	8月15日～8月19日 (5回)	栄養委員会
社会資源研修	小規模多機能居宅介護について	全職種	51名	11月21日～11月25日 (5回)	社会資源委員会
災害対策研修	水害・地震対策マニュアルについて	全職種	50名	12月26日～12月29日 (4回)	安全対策委員会
介護保険制度研修	介護保険制度について	全職種	47名	1月23日～1月27日 (5回)	在宅サービス委員会
身体拘束・虐待予防研修	非言語コミュニケーションについて	全職種	50名	2月20日～2月24日 (5回)	身体拘束・虐待廃止委員会
リスクマネジメント研修	平成28年度事故報告書集計結果報告・ヒヤリハット報告書について	全職種	40名	3月27日～3月31日 (5回)	リスク管理委員会

参加人数は併設事業所も含む。

## 法人研修

研修名	研修内容	参加職種	参加人数	期 間	講師(職・氏名)
セイフティマネジメント研修	「セイフティマネジメント」と「リスクマネジメント」について(講義)	全常勤	60名	6月7日～6月8日	株式会社CMI代表取締役 (丸岡義明先生)
介護業界とサービス研修	福祉産業、介護業界でのサービスについて(講義)	全常勤	63名	10月24日～10月28日 (3回)	勝原第二デザインサービス (管理者・辻勝彦)

参加人数は併設事業所も含む。

職員の外部研修の受講状況

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
3部会(居宅介護支援・施設・居宅サービス)合同勉強会	新しい総合事業への移行について	介護支援専門員	1名	5月21日	1日間	姫路市医師会	口頭・復命
平成28年度 第1回 ケアマネジメント力向上会議	第三者の専門職を交えた事例検討について	介護支援専門員	3名	5月25日	1日間	姫路市西保健センター	口頭・復命
平成28年度介護支援専門員専門研修課程 I	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	介護支援専門員	1名	5月26日	2日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
進めよう！深めよう！わがまちの認知症ケア！	認知症に理解から姫路市の現状と未来～	介護支援専門員	1名	6月11日	1日間	姫路市市民会館	口頭・復命
平成28年度介護支援専門員専門研修課程 I	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状 対人援助技術及び地域援助技術等	介護支援専門員	1名	6月14日	3日間	兵庫県福祉センター	口頭・復命
平成28年度第1回主任介護支援専門員合同交流会	地域活動をしつてもらう 交流会	介護支援専門員	3名	6月15日	1日間	姫路市西保健センター	口頭・復命
平成28年度 第1回 包括的・継続的ケアマネジメント支援研修(網干ブロッグ)	介護支援専門員の倫理(倫理の基本に立ち止まり自分を振り返ろう)～講義と事例を通して～	介護支援専門員	4名	6月16日	1日間	姫路市網干保健福祉 サ―ビスセンター	口頭・復命
平成28年度介護支援専門員専門研修課程 I	ケアマネジメントの演習	介護支援専門員	1名	6月30日	2日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
第1回包括的・継続的ケアマネジメント支援研修 近畿老人福祉施設研究協議会 京都大会	2025年へ向けて 高齢者福祉・介護のあり方を考える 社会福祉の原点と利用者本位の精神を基本として	介護支援専門員	1名	7月20日	2日間	ロームシアター京都	口頭・復命
平成28年度 第2回 ケアマネジメント力向上会議	第三者の専門職を交えた事例検討について	介護支援専門員	2名	7月21日	1日間	姫路市西保健センター	口頭・復命
平成28年度介護支援専門員専門研修課程 I	ケアマネジメントの演習	介護支援専門員	1名	7月25日	2日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命

研 修 名	研 修 内 容	参 加 職 種	参加人員	日 付	期 間	場 所	研修結果の報告方法
平成28年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	ケアマネジメントの演習	介護支援専門員	1名	7月28日	1日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
平成28年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ	個人での学習及び介護支援専門員の相互間の学習	介護支援専門員	1名	8月17日	1日間	兵庫県社会福祉研修所	口頭・復命
平成28年度第2回主任介護支援専門員交流会	精神、知的障害者を抱える高齢家族の事例検討会 交流会	介護支援専門員	2名	8月25日	1日間	大津みやび野ホーム	口頭・復命
第55回 社会福祉夏季大学	これからの暮らしとコミュニティを育むために	介護支援専門員	1名	9月7日	1日間	神戸芸術センター芸術劇場	口頭・復命
平成28年度 第2回 包括的・継続的ケアマネジメント支援研修(網干ブロック)	事例の中で考える権利擁護について 成年後見制度の活用と導入方法について考える	介護支援専門員	4名	9月14日	1日間	姫路市網干保健福祉サービスセンター	口頭・復命
平成28年度 第3回 ケアマネジメント力向上会議	第三者の専門職を交えた事例検討について	介護支援専門員	3名	9月21日	1日間	姫路市西保健センター	口頭・復命
介護予防・日常生活支援総合事業説明会	介護予防、日常生活支援総合事業 姫路市の介護予防、日常生活支援総合事業等	介護支援専門員	1名	10月18日	1日間	姫路市市役所	口頭・復命
平成28年度 第1回公開研修 姫路市社会福祉協議会	利用者の全体像を捉えるアセスメント ～見立てから手立てる～	介護支援専門員	3名	10月21日	1日間	兵庫県立武道館	口頭・復命
平成28年度 介護保険サービス事業者等集団指導	介護労働者の労働条件、安全、健康の確保対策等について 介護サービス事業における法令遵守・指導監査について 等	介護支援専門員	1名	10月26日	1日間	姫路文化センター	口頭・復命
平成28年度地域サポート型施設普及推進事業 第2回研修会	高齢者虐待防止について考える ～最期まで尊厳をもって暮らすために～	介護支援専門員	1名	11月1日	1日間	兵庫県民会館	口頭・復命
兵庫県老人福祉事業協会 介護の日イベント	認知症支援 「つむぐも」映画上映視聴	介護支援専門員	1名	11月11日	1日間	神戸市産業振興センター	口頭・復命
平成28年度兵庫県介護支援専門員実務研修 見学実習受入協力事業所説明会	実習受入のながれ 見学実習の指導内容について	介護支援専門員	6名	11月14日	1日間	兵庫県立労働会館	口頭・復命

研 修 名 称	研 修 内 容	参 加 职 种	参 加 人 员	日 付	期 間	場 所	研 修 結 果 の 報 告 方 法
平成28年度 第3回 包括的・継続的ケアマネジメント支援研修(網干ブロック)	医療と介護の連携について 生活支援検討会議(初期集中支援)	介護支援専門員	4名	12月14日	1日間	姫路市網干保健福祉 サービスマネジメントセンター	口頭・復命
平成28年度第3回主任介護支援専門員合同交流会	介護保険法の振り返り 主任介護支援専門員の役割について	介護支援専門員	3名	12月20日	1日間	姫路・勝原ホーム	口頭・復命
平成28年度 第4回 包括的・継続的ケアマネジメント支援研修(網干ブロック)	認知症患者の精神科病院、受診ルールについて 日常生活支援総合事業について等	介護支援専門員	5名	2月14日	1日間	姫路市網干保健福祉 サービスマネジメントセンター	口頭・復命
平成28年度第4回主任介護支援専門員合同交流会	管理者の心構え～アンガーマネジメント～	介護支援専門員	2名	3月14日	1日間	姫路市網干保健福祉 サービスマネジメントセンター	口頭・復命
姫路市在宅医療・介護連携支援センター	介護記録について～チームケアのバトン～	介護支援専門員	2名	3月16日	1日間	姫路市医師会館	口頭・復命



## 苦情対応

平成 28 年度は苦情なし

## 事故対応

発生日	事故内容	事故対策
平成 28 年 4 月 15 日	「サービス調整連絡ミスについて」 4 月利用票において、受診日の為、デイサービスをキャンセルしていたが、4 月の制度改正により再度、予定を作成し直し、受診日にデイサービスの予定を入れた提供票を事業所へ渡した為、デイサービスが迎えに行ってしまった。	① 予定の作成をやり直した際には、直近の利用票と照らし合わせ、誤りがないかきちんと確認する。
平成 28 年 5 月 2 日	「保険請求誤りにについて」 初回加算の取得条件に該当していなかったが、加算を算定し請求してしまっていた為、保険者より訂正の連絡が入った。過誤申請を行い、請求内容を訂正した。	① 加算を算定する際は担当者が要件を満たしているかどうかを十分に確認する。 ② 管理者が請求前に加算を取得要件が確実に満たしているかどうかを再度、確認する。
平成 28 年 9 月 3 日	「保険請求誤りにについて」 新規利用者情報を入力する際、居宅介護支援事業所欄に過去の当事業所情報を入力し、請求してしまっていた為、翌日返戻となった。	① 入力する際、これまで入力している方法を参考に十分確認する。 ② 新規利用者は請求する際、必要項目が正しく入力できているかを入念に確認する。
平成 28 年 9 月 23 日	「カンファレンス日時の間違いについて」 カンファレンスの予定日時を聞き間違い、当日、病院から連絡が入り、遅れて参加した。	① 電話等で予定を決める際は入念に確認し、すぐにスケジュール表に記載する。 ② 日頃から余裕をもって仕事し、的確に行動できるようにする。
平成 28 年 10 月 4 日	「保険請求誤りにについて」 月途中で区分変更を行い、介護度が変更していたが、翌月、介護度の変更をせず、請求してしまっていた。	① 担当者が区分変更の把握をきちんと行い、手続きを行う。 ② 保険証情報に変更がある時には請求前に確認する。

発生日	事故内容	事故対策
平成 29 年 1 月 6 日	<p>「サービス調整連絡ミスについて」</p> <p>入院されたが、短い期間と聞いていた為、ショートステイのキャンセルをしておらず、そのまま入院が延び、ショートステイの利用当日に事業者から家族に連絡し、入院がわかり、当日キャンセルとなった。</p>	<p>① 入院となった際は入院期間に関係なく、事業者へ入院となったことを確実に伝える。</p> <p>② 日頃から余裕をもって仕事することで、連絡、調整ミスを防ぐ。</p>
平成 29 年 1 月 6 日	<p>「サービス調整連絡ミスについて」</p> <p>サービス担当者会議を予定していたが、急遽二日前に入院となった。訪問看護、訪問介護事業者にはサービス、会議の中止を伝えていたが、福祉用具事業者へ連絡を入れ忘れ、事業者が自宅へ訪問した。</p>	<p>① 入院となった際は事業者へ入院となったことを確実に伝える。</p> <p>② 日頃から余裕をもって仕事することで、連絡、調整ミスを防ぐ。</p>